武雄市の文化財

今回は、武雄市内にある指定文化財のうち、古文書について紹介します。

指定をうけている古文書として、国指定が1件、県指定が2件、市指定が1件の計4件があります。この中から、特に「武雄神社文書」「源頼朝加判平盛時奉書」「武雄鍋島家文書」を取り上げて説明します。

「武雄神社文書」は武雄神社に伝わる平安中期から室町末期にかけての古文書で、なかでも天暦5年(951年)2月の「四至実験状」(武雄神社の社域の検分書)は、県内に残る古文書の中で最古のものです。本来は218通の文書でしたが、保存修理を行なって現在は25巻の巻物となっています。昭和54年に国指定を受けました。

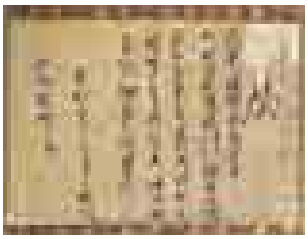
「源頼朝加判平盛時奉書」はもともと武雄神社文書の中の1枚で、昭和50年に県指定を受けました。源頼朝の命令を受けた平盛時が武雄神社へ差し出した奉書と呼ばれる形式の文書です。文書の大きさは、縦25.8㎝、横36.6㎝。右余白部に頼朝の花押があり、文治2年(1186年)3月10日の日付が記されています。

内容は、源平争乱に際し、平氏追討の祈願をした武雄神社に対する感状(手柄・功績に対する賞状)です。源平争乱の中で、武雄地方の人々がどう対応していたかを示す貴重な資料です。

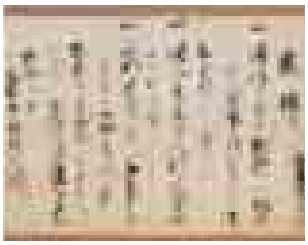
「武雄鍋島家文書」は、武雄鍋島家に残されていた古文書です。武雄鍋島家には3000点を超える古文書がありますが、最も古い正応二年(1289年)の「蒙古合戦勲功賞神埼荘配分状」から慶長年間までの中世文書62通が市の指定文化財となっています。

このなかには「豊臣秀吉塚崎温泉掟書」という天正20年(1592年)の掟書があります。文禄・慶長の朝鮮出兵のとき、多くの将兵が塚崎温泉を訪れ、地元の人々に迷惑をかけることもありました。それで、秀吉はこの掟書を出して取り締まりをしました。

四至実験状(武雄神社文書)



源頼朝加判平盛時奉書



豊臣秀吉塚崎温泉掟書
(武雄鍋島家文書)

Takeo-city Library & Historical Museum information

武雄市図書館 歴史資料館だより

新市発足記念「武雄市陶芸作家展」

平成18年3月1日、旧武雄市・山内町・北方町の一市二町が合併し新しい市が誕生しました。新武雄市には90軒ほど窯元があり、“いで湯と陶芸のふるさと”として、いっそう幅と深みを増してきました。

今回の展覧会では、芸術性豊かで個性に満ちた新武雄市の作家の作品を一堂に展示いたします。どうぞご鑑賞ください。

また、展示会にあわせ出品作家による展示解説・ギャラリートークを2月2日(金)午後2時・2月10日(土)午後1時から展示会場にて開催します。ぜひ参加ください。

◆開催期間　平成19年2月2日(金)から2月25日(日)まで
◆休館日　毎週月曜日及び2月11日(日)～14日(水)
◆開館時間　午前9時から午後5時まで
◆観覧料　無料
◆会場　武雄市図書館・歴史資料館　企画展示室
◆お問合せ先　武雄市図書館・歴史資料館
電話　0954－20－0222

EPOCHAL TAKEO
エポカル武雄

人の動き

総人口	52329人
男	24760人
女	27569人
世帯数	16799世帯

武雄町	15,985人(−16)	東川登町	2,690人(−38)
橘町	2,843人(−38)	西川登町	2,216人(−38)
朝日町	5,684人(−74)	山内町	9,595人(−83)
若木町	2,007人(−18)	北方町	8,565人(−69)
武内町	2,744人(−72)		

( )は平成17年12月30日との増減

平成18年12月30日現在

《編集・発行》武雄市総務部情報管理課(市役所3階TEL 23−9121・FAX 23−3816)　《印刷》飯盛印刷紙工株式会社
●武雄市ホームページアドレス　http://www.city.takeo.lg.jp/　●E-mailアドレス　jyouhou@city.takeo.lg.jp　再生紙利用